2018
10
No. 672

# 國學院大學学報

国学院大学　平成30年10月10日㈬　定期号（毎月10日発行）1部20円
［発行］国学院大学　［編集］総合企画部広報課　〒150-8440 東京都渋谷区東四丁目　［電話］03（5466）0130　［FAX］03（5466）0528

「津輕」
秋深く
穂に立ちがたき山の田に、
はたらきひとら
おり行きにけり
（「水の上」）
釈　迢空

**祭　儀**　■ **創立記念祭**　11月1日（木）　午前9時　神殿　■ **関係物故者慰霊祭**　11月1日（木）　午前10時30分　百周年記念館記念講堂

「平成最後の」という言葉が、巷で聞かれるようになった。平成31年4月30日に天皇陛下が退位され翌5月1日に皇太子殿下が即位される「御代替わり」まで半年余りとなった。天皇陛下の退位は、江戸時代後期の光格天皇以来約200年ぶり、日本国憲法下では初となる。政府が準備を進める御代替わりについて、皇室制度や皇位継承を改めて見つめつつ「日本に暮らす者として知っておきたいこと」をゼロから学んでみたい。

国学院大学における皇位継承に関する研究は、折口信夫博士の「大嘗祭（だいじょうさい）の本義」などによって確立されてきた。即位儀礼のクライマックスである「大嘗祭」の研究を専門とする神道文化学部の岡田荘司教授は「（新天皇が新穀を供えて感謝を捧げる）大嘗祭は我が国の伝統祭祀を貫いてきた。さらに、そこには災害への恐れと備えという日本固有の想いも込められている」と述べる。大嘗祭はまさに、稲作を中心とした日本に暮らす人々の生き方を示すものと言えそうだ。

【4、5面関連記事】

# ゼロから学んでおきたい「平成から次の時代へ」

## 皇位継承を知る

昭和64年1月7日、当時の小渕恵三官房長官が新元号を記した白木の額を掲げた翌8日から「平成」がスタート。31年の間には、長野五輪での日本勢躍進（10年2月）、「富士山―信仰の対象と芸術の源泉」のユネスコ世界文化遺産登録（25年6月）といった喜ばしい出来事があった半面、東日本大震災（23年3月11日発生）では何度も被災地入りされた天皇、皇后両陛下のお姿や復旧に尽力した自衛隊の活動を通じて「絆」がクローズアップされた。29年12月1日の皇室会議で「31年4月30日での譲位」が決まり、史上4番目の長さとなった元号が幕を閉じることとなり号外も発行された（写真は産経新聞提供）

## エジプト高等教育科学研究相が来校
## 合意書に調印

エジプトのハーリド・アブデル・ガッファール高等教育科学研究大臣が10月8日、渋谷キャンパスに来校し赤井益久学長と高等教育や研究で協力に向けた検討を行う合意書に調印した。

今回、双方が合意したのは、教員と職員、学生の派遣受け入れや教育能力向上の取り組みなど4項目。今後、具体的な内容について検討が進められる。

赤井学長は「大学として国際交流関係を強めていきたい。今日を境に両国の発展がますます強くなることを祈念している」、ガッファール大臣は「教員養成などの分野で継続的に互いに協力ができるのではないかと期待している」とそれぞれ挨拶した。

日本・エジプト間では、平成28年に締結した「エジプト・日本教育パートナーシップ」を基に同国で日本式教育の導入を進めている。中でも特別活動に子どもたちが積極的に取り組むことが特徴で、その指導に人間開発学部の杉田洋教授がこれまでも同国で当たってきた。

## みはるかすもの

今月から始まったNHKの連続テレビ小説「まんぷく」は、「インスタントラーメン」の生みの親として知られる安藤百福夫妻がモデル。明治生まれの安藤は、「専門家の言うことを鵜呑みにはしない。時には素人の発想が正しいこともある」と語り、戦前から戦後の激動期を、メリヤス販売、バラック住宅の製造、製塩業などさまざまな事業で成功と挫折を繰り返した▼昭和33年に世に出したチキンラーメンも、麺づくりは素人の安藤が試行錯誤を重ねて、2年の歳月をかけて作り上げた。失敗が続く中でも「わずかな光を頼りに、進み続けるしかなかった」と執念がにじむ▼今年のノーベル医学・生理学賞に、がん治療の新たな道を切り開いた京都大学の本庶佑特別教授が選ばれた。8年かけて偶然見つけた分子PD―1の機能を特定。がんの免疫治療につながる新薬開発を実現した▼本庶さんの哲学は「好奇心、勇気、挑戦、確信、集中、継続」そして「教科書を全て信じてはいけない」。世界の食を変えた安藤に通じる▼本庶さんは、ノーベル賞の賞金で、若手研究者を支援する大学の基金を作る考えだと言う。「研究者として熟成するには最低で10年かかる」と研究者の育成の必要性を強く訴える▼世界を変えるような発見は、得てして長い歳月がかかる。即効性や目先の利益、効能ばかりに視線が向いてしまうのは人間の性だが、それでは大成しない。「ローマは一日にして成らず」である。

**主な内容**　**2面**／彬子女王殿下、学生らと稲刈り体験　**3面**／「指定寄付金」ご芳名
**4・5面**／特集 ゼロから学んでおきたい「平成から次の時代へ」　**6面**／インフォダイジェスト
**最終面から**　K：DNA　**Ⅰ面**／柔道部 島田選手73kg級で準優勝　**Ⅱ面**／硬式野球部 東都で2連勝

KOKUGAKUIN UNIVERSITY 140th 1882–2022

# 実りの秋 学生ら稲刈り体験

## ―彬子女王殿下をお迎えし

日本の歴史と伝統を育んできたコメづくりの大切さを学ぶため、自然栽培に取り組む農家の協力を得て行われている「新潟コメ作りワークショップ」が9月20日、新潟市北区の大月地区で行われた。今回は5月20日に行われた同ワークショップで植えられた稲の収穫作業。学生約30人のほか、本学特別招聘教授の彬子女王殿下も参加され、学生たちは地元農家の人たちからアドバイスを受けながら、鎌を片手に稲刈りに励んだ。

ワークショップは、彬子女王殿下が総裁を務められる日本文化を伝承する団体「心游舎（しんゆうしゃ）」（大阪市）の主催で行われており、今年で3年目。

5月の田植えのときは目の覚めるような緑一色だった越後平野も、今は金色に輝いており、その上には心地よい秋風がそよいでいる。学生たちは慣れない農作業に苦戦しつつも、和気藹々（あいあい）とした雰囲気で稲刈りを体験した。

石田里歩さん（日文3）は「初めての参加だったが、田んぼに入るだけでも体力を使ってしまい、大変な労力だと感じました」と話し、市川貴清さん（神文2）も「どうやったらうまくいくか工夫していくところが楽しかったです。田植えにも参加したので無事に育ってくれて本当によかったです」と満足そうだった。

作業後は班ごとに振り返り学習も行われた。学生たちと稲刈りを体験された彬子女王殿下は「皆さんが上達していく様子を見ることができて、ワークショップを始めてよかったと思います」と述べられた。

ワークショップを受け入れている農園の宮尾浩史さんは「学生さんたちの成長をすごく感じます。地域の人たちと国学院大学、彬子女王殿下の心游舎と、関わる全ての人にとって価値のある内容になるように企画を練ってきたので、充実した気持ちでいっぱいです」と顔をほころばせた。

## 9月卒業 30年度98人

国学院大学の平成30年度９月卒業は110人から申請があり、前期開講科目の成績評価により98人の９月30日付卒業が確定した。

卒業期は127期で、卒業式典は31年３月17日（日）に行われる。所属学部学科別の卒業生数は次の通り。

◎**文学部**＝29人▽哲８人▽史７人▽日本文６人▽中国文３人▽外国語文化５人

◎**経済学部**＝24人▽経済12人▽経済ネットワーキング５人▽経営７人

◎**法学部**＝32人▽法律専攻28人▽法律専門職専攻２人▽政治専攻２人

◎**神道文化学部**＝６人

◎**人間開発学部**＝７人▽初等教育１人▽健康体育５人▽子ども支援１人

## 伝来469年を振り返る 大学博物館で「キリシタン展」

「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」のユネスコ世界文化遺産登録を記念する共同特別展「キリシタン―日本とキリスト教の469年―」が、国学院大学博物館を会場に９月15日～10月28日の日程で開催。国指定の重要文化財10点を含む85点の貴重な資料がそろい、会期中には２度のシンポジウムと特別講義も開かれキリスト教伝来からの歴史と潜伏キリシタンの苦難を振り返った。

平成26年から連携を続ける国学院大学博物館と西南学院大学博物館による共同企画。表面がすり減った長崎奉行所旧蔵の「踏絵」２点（国重文、東京国立博物館蔵）などからは禁教時代に信仰を守り続けた潜伏キリシタンの心が伝わってくる。

本展を企画した深澤太郎・研究開発推進機構准教授は「世界中にはさまざまな宗教が存在するが不確かな情報に惑わされがち。神道を得意とする本学とキリスト教に立脚する西南学院との連携で宗教リテラシーを目指したい」と話す。11月２日（金）～12月13日（木）には、展示物などを変えて福岡市の西南学院大学博物館でも開催される。

## たまプラーザキャンパス

# （仮称）6号館建設へ地鎮祭

学校法人国学院大学は、たまプラーザキャンパス再開発の一環として新たに（仮称）６号館を第２体育館に隣接する敷地に建設する。着工を前に10月４日、坂口吉一理事長、赤井益久学長ら本学役教職員、松井建設の松井隆弘取締役社長をはじめとする工事関係者らが参列し地鎮祭が執り行われ、工事の安全を祈念した。

６号館は、地下１階地上３階建て。柔道場やトレーニングルームなどの体育施設を設け、授業や課外活動での利用を見込んでいる。竣工は再来年２月の予定。

祭典終了後、坂口理事長は「新施設は正課のほか課外活動でも使ってもらう。学生の練習の成果がより一層出るのではないかと思っている」と挨拶した。

## 教職員人事

**［退職］**

**◆自己都合**

◎人間開発学部◇教授▽村上佳司

◎大学事務局◇専任▽小峰寛子（学術メディアセンター事務部図書館事務課〈たまプラーザ〉書記）

**◆任期満了**

◎教育開発推進機構◇准教授（特別専任）▽松岡弥生子

以上、平成30年９月30日付

**［採用］**

◎神道文化学部◇助教▽エリック・シッケタンツ

以上、平成30年10月１日付

## 米・ハーバード大学で「古代日本の神話と儀礼」の国際ワークショップ

研究開発推進機構と米・ハーバード大学ライシャワー日本研究所が共催する国際ワークショップが９月21日、「古代日本の神話と儀礼」をテーマに同大で開かれた。本学からは笹生衛・神道文化学部教授、平藤喜久子・研究開発推進機構教授、大東敬明・同准教授、渡邉卓・同助教、木村大樹・同ＰＤ研究員が発表者として参加。基調講演を担当した笹生教授は「大嘗祭の構造と歴史的背景―古代の大嘗祭・大嘗宮の実態と原形を中心に―」と題して、考古学の成果に基づき新嘗祭や大嘗祭の原形について発表した。

それぞれの発表には、専門分野に応じた海外研究者のディスカッサントがコメントを寄せた。

会場にはハーバード大学の大学院生や米国内の研究者ら約40人が来聴、各発表後に熱心に質問が投げかけられた。

## 協定校から交換留学生13人

本学では、交換留学プログラム（K-STEP）に13人の留学生を９月から受け入れている。滞在期間は来年８月まで。

10月５日には歓迎会が開かれ、田原裕子・国際交流推進部長（経済学部教授）は「日本語の習得だけでなく、100年に１度の大開発が進む渋谷の街に出て日本を楽しんでほしい」と留学生たちに語りかけた。

留学生の内訳は次の通り。

◎マニトバ大学（カナダ）＝２人
◎サラマンカ大学（スペイン）＝２人
◎プトラ・マレイシア大学（マレーシア）＝２人
◎世新大学（台湾）＝２人
◎ビンガムトン大学（米国）＝２人
◎ハノイ大学（ベトナム）＝２人
◎ヨーク・セント・ジョン大学（英国）＝１人

## 院友3氏が司法試験を突破

今年度の司法試験合格者が９月11日、法務省から発表され、本学法科大学院修了生３人が合格した。

有栖川宮記念ホールで９月28日に催された合格者祝賀会では、日頃の学びをサポートした教員と修了生が多数駆け付け、祝福の言葉や将来へのアドバイスが送られた。

３人は「合格できたのは先生方の指導のたまもの」「プロの弁護士にふさわしいと言ってもらえるような弁護士を目指していく」などと挨拶し、今後の飛躍を誓った。

## キャリアサポート課が移転

３月末に渋谷パブリック法律事務所が閉所したことに伴い９月19日、跡地の百周年記念館１階に学生事務部キャリアサポート課が移転した。翌20日から業務を再開している。

# 「指定寄付金」ご芳名

学校法人国学院大学では、私学としての公共性と独自性ある教育研究体制を確立するため、広くご寄付を募っています。

多方面の方々からのご寄付をたまわりました。ここにご芳名を掲載し、重ねて深甚の謝意を表します。

本法人に対する寄付は、専用用紙による申し込みとインターネット上でクレジットカード決済による申し込みが可能です。詳細は６面をご参照ください。

（総務部総務課）

### 平成30年度指定寄付者一覧（敬称略）

自　平成30年 4月 1日
至　平成30年 9月30日

| 寄付者 | 寄付目的 | 寄付金額 | 寄付月日 |
|---|---|---|---|
| 市川 博之 | 学生・生徒等の奨学金 | 10,500 | 平成30年４月～ |
| 匿名 | 学生・生徒等の奨学金 | 50,000 | 平成30年４月 ３日 |
| 匿名 | 学生・生徒等の奨学金 | 15,000 | 平成30年４月 ３日 |
| 喜多山 健二 | 学生・生徒等の奨学金 | 100,000 | 平成30年４月27日 |
| 匿名 | 学生・生徒等の奨学金 | 1,000,000 | 平成30年５月 ９日 |
| 株式会社アルク<br>代表取締役　實川 利光 | 学生・生徒等の奨学金 | 30,000 | 平成30年５月18日 |
| 一般財団法人国学院大学院友会<br>会長　吉田 茂穂 | 教育・研究振興支援（母校所蔵の貴重資料デジタル化） | 100,000 | 平成30年５月21日 |
| 渡辺 初男 | 施設・設備充実支援 | 10,000 | 平成30年５月21日 |
| 小林 國雄 | 教育・研究振興支援 | 20,000 | 平成30年６月 ５日 |
| 臼杵 千枝子 | 学生・生徒等の活動支援（陸上競技部、硬式野球部） | 100,000 | 平成30年６月 ７日 |
| 全国院友高等学校長会<br>会長　五十嵐 一郎 | 学生・生徒等の奨学金 | 55,000 | 平成30年６月18日 |
| 渡邊 直樹 | 学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部支援） | 100,000 | 平成30年６月29日 |
| 服部 謙太郎 | 教育・研究振興支援 | 5,000 | 平成30年６月29日 |
| 国学院大学院友神職会埼玉支部<br>支部長　中山 高嶺 | 学生・生徒等の活動支援（装束・祭器具購入等） | 1,000,000 | 平成30年７月 ２日 |
| 田村 弘 | 施設・設備充実支援（国学院大学北海道短期大学部の書籍購入） | 50,000 | 平成30年７月11日 |
| 匿名 | 教育・研究振興支援（古事記学センター充実） | 30,000 | 平成30年７月17日 |
| 陣内 和子 | 学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部支援） | 30,000 | 平成30年７月17日 |
| 松原 幹夫 | 学生・生徒等の奨学金 | 10,000 | 平成30年７月25日 |
| 一般財団法人国学院大学院友会<br>会長　吉田 茂穂 | 学生・生徒等の活動支援（第22回全国高校生創作コンテスト） | 100,000 | 平成30年７月31日 |
| 一般財団法人国学院大学院友会<br>会長　吉田 茂穂 | 学生・生徒等の活動支援（第14回地域の伝承文化に学ぶコンテスト） | 100,000 | 平成30年７月31日 |
| 橋本 禎夫 | 学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部支援） | 50,000 | 平成30年７月31日 |
| 杉山 和敬 | 学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部支援） | 10,000 | 平成30年７月31日 |
| 打田 道夫 | 学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部支援） | 50,000 | 平成30年７月31日 |
| 成田 節夫 | 学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部支援） | 30,000 | 平成30年７月31日 |
| 江口 祥生 | 学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部支援） | 50,000 | 平成30年８月15日 |
| 上田 祥功 | 学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部支援） | 20,000 | 平成30年８月15日 |
| 黒澤 真 | 学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部支援） | 30,000 | 平成30年８月15日 |
| 谷川 陽一 | 学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部支援） | 30,000 | 平成30年８月15日 |
| 柴田 幸英 | 学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部支援） | 100,000 | 平成30年８月15日 |
| 吉村 治 | 学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部支援） | 50,000 | 平成30年８月15日 |
| 鈴木 敦子 | 学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部支援） | 50,000 | 平成30年８月15日 |
| 原田 達也 | 学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部支援） | 20,000 | 平成30年８月15日 |
| 清水 大介 | 学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部支援） | 30,000 | 平成30年８月15日 |
| 岩崎 勇介 | 学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部支援） | 10,000 | 平成30年８月15日 |
| 神谷 晴江 | 学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部支援） | 150,000 | 平成30年８月15日 |
| 小玉 圭一郎 | 学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部支援） | 30,000 | 平成30年８月15日 |
| 土屋 信太郎 | 学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部支援） | 10,000 | 平成30年８月15日 |
| 鈴木 政明 | 学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部支援） | 30,000 | 平成30年８月15日 |
| 安田 和重 | 学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部支援） | 20,000 | 平成30年８月15日 |
| 松井 秀彦 | 学生・生徒等の活動支援（モーターボート水上スキー部支援） | 10,000 | 平成30年８月15日 |
| 株式会社アルク<br>代表取締役　實川 利光 | 学生・生徒等の奨学金 | 30,000 | 平成30年８月23日 |
| 斎藤 智潮 | 学生・生徒等の活動支援（あすなろ奨学金資金） | 300,000 | 平成30年９月28日 |

（単位：円）

学問ノ道 第11回

◉新制文学部設置から70年②

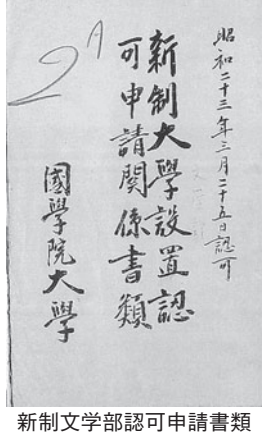
# 伝統を貫く新制文学部の船出

昭和22（1947）年３月、教育諸法令の基礎をなす「教育基本法案」「学校教育法案」が国会に提出され、同月中に衆議院・貴族院にて可決、これにより戦後の新たな教育が始まることとなった。本学もそれに対応して、佐佐木行忠学長の辞任を受けて学長に就任した石川岩吉らが、23年に新制学部の設置について審議した。創立以来、国史・国文・国法の講究が念願であった本学は、将来的な文学部、法学部、経済学部の３学部制を見据えた、宗教学科・文学科・史学科・哲学科・政治学科・経済学科からなる法文学部の設置を計画した。さらに宗教科には卒業後に専攻科を１年置くことや、他学科には大学院を設置することも盛り込まれていた。しかし、23年２月の法文学部認可の申請に対し、文部省の大学設置審議会による審査の結果は、政治学科・経済学科の増設には諸種の条件が不十分であるとされた。このことから、計画を変更して宗教学科（30年12月に神道学科と改称）・文学科・史学科・哲学科からなる文学部として再申請した。同年３月25日、申請は認可され、23年４月に新制文学部が開設された。新制度の文学部長には武田祐吉教授が就任した。

新制文学部の初代学部長となった武田祐吉博士

文学部では、文学科、史学科の第二部を24年４月（平成17年度から募集停止）に、神道学科の第二部を42年４月に開設した。平成８年４月には、文学科を日本文学科、中国文学科、外国語文化学科に改組・転換し、14年に神道学科が神道文化学部として改組された。現在の文学部は５学科で構成されており、それぞれ特色のある専攻をもつ。

戦後の大きな変革によって設置された新制文学部は、日本文化を究明する本学にあって、本学創立以来の学問研究を現在も貫き続けている。



昭和二十三年三月二十五日認可
新制大學設置認可申請関係書類
國學院大學

新制文学部認可申請書類

研究開発推進機構助教　渡邉卓

# 列島に生きる人々とともに

岡田荘司・神道文化学部教授

## 大嘗祭の「心」

「大嘗祭の本質は何か」と問われたら、「日本列島に暮らす者の生き方の現れ」と答えたい。農耕国家であると同時に自然災害に見舞われることの多い列島で暮らす人々のため、新天皇自らが祈りを捧げ、皇室の祭祀だけではなく「国民とともにある」ことを示すのが大嘗祭の姿だ。

大嘗祭で供えられる神饌には、ウミガメの甲羅を焼いて占う「亀卜」で選ばれる悠紀・主基2つの国（地域）で収穫された米と、その米から作られる「黒酒」「白酒」が知られる。加えて、奈良や京都といった内陸の都では入手しづらかった海産物や、阿波（徳島県）の麻織物「麁服」と三河（愛知県）の絹織物「繒服」などの地方産品もある。これは、日本中を挙げて一代一度の神祭りを協賛することを示すものだ。

さらに、庶民の食べ物である粟が神饌に含まれることにも注目したい。米は天照大神からの頂き物で大切なものとして供えられるが、災害対応や国民の食料を守るため「粟も順調に育ててください」との祈りがもう一つ入っていると思われる。中世の祝詞に見られる禍を鎮めるための祈りも含め、災害が多い列島で共同体を維持するための「想い」が組み込まれているのではないか。

◇

古代から近世まで国家行事の最高位に位置づけられた「即位礼」は「礼服」などをまとった唐風の儀式で、中国からの先進情報を盛り込むことで統治者としての力を「外向き」にアピールする狙いがあった。これに対し、大嘗祭は日本古来の伝統を踏襲した形を維持し続けており、内外のバランスを取ってきたと言える。それが明治になって中国的な色合いが排除され、日本古来の姿に近づいてきた。一方「大嘗祭は御代替わりにおける最も重要な神祭り」とされ、古来から伝統的な形式を皇室と国民が一つになって守りつづけてきた。

大嘗祭には悠紀・主基の国の人々が何千人も参加して、祇園祭の山鉾や各地の祭の山車の原型となった「標山」というものを引っ張る。宮中祭祀は難しく捉えられがちだが、国民も協賛して社会を維持することや人間が生きていくための一番の本質を天皇の立場で伝えてきたと考えるとどうか。30年前の御代替わりでは、昭和後期の超能力ブームなどと相まって「秘事として見ることはできない部分で呪術的な行為が行われる」との説も流布されたが、そのようなことはあり得るはずがないと分かってくる。

◇

伊勢神道では「元元本本」と言うが、原点に返ることが神道の根本にある。東日本大震災以降、各地で相次ぐ災害の被災者は「平常に戻りたい」と皆が言い、復興の象徴として「祭」を盛り上げるのに力を注ぐ。日本は「豊葦原瑞穂国」といって豊かで瑞々しい稲穂が実る素晴らしい国との理解がある。その姿に戻そうという「想い」を象徴的に表したものが大嘗祭であるのだ。（談）

「嘉永元年大嘗会図」（国学院大学博物館蔵）



# ゼロから学んでおきたい「平成から次の時代へ」

平成から次の時代へ。「御代替わり」では、政府の皇位継承式典準備委員会が決定した一連の儀式や行事が行われる。「平成最後の日」となる来年4月30日の「退位の礼」から半年にわたって行われる一代一度限りで「御大典」とも呼ばれる「御代替わり」を紹介する。一方、「御代替わり」で最も重要な神祭りとされる11月14、15日の「大嘗祭」については、岡田荘司・神道文化学部教授に解説してもらう。

## 政府準備委員会が決定した一連の行事

## 退位の礼　4月30日

### 退位礼正殿の儀

天皇陛下が皇太子殿下に位を譲ることを宣言される儀式だが、日本国憲法下では初めてのため詳細は不明。【皇居・宮殿＝国事行為】

## 即位の礼　5月～10月

### 剣璽等承継の儀　5月1日

「八咫鏡」「天叢雲剣」「八尺瓊勾玉」は天照大神から受け継がれてきた皇位の象徴として「三種の神器」と呼ばれる。承継の儀では、皇居・剣璽の間に安置される剣の形代（＝写し）と璽（＝勾玉）に加え、天皇と国の印章である御璽と国璽が新天皇に引き継がれる。皇位が速やかに継承されたことを表す儀式。

【皇居・宮殿＝国事行為】

※「神器」のうち鏡は伊勢神宮に、剣は熱田神宮にそれぞれ安置されている。

### 即位後朝見の儀

新天皇が国民を代表する三権の長らと会見し、即位を宣言。

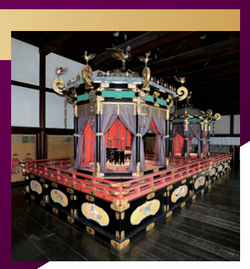
【皇居・宮殿＝国事行為】

### 即位礼正殿の儀

玉座に相当する「高御座」に新天皇が、「御帳台」に新皇后がそれぞれ立ち、即位したことを宣言される。

【皇居・宮殿＝国事行為】

※高御座と御帳台は大正、昭和、平成の即位礼でも使用されたもの。



京都御所で公開された高御座と御帳台（産経新聞提供）

平成の御代替わりでのパレード（産経新聞提供）

### 祝賀御列の儀　10月22日

パレードで国民の祝福を受ける。　【東京都内＝国事行為】

### 饗宴の儀　10月22日から数日間？

国内外の賓客を招いて即位を披露する宴。　【皇居・宮殿＝国事行為】

### 首相夫妻主催晩餐会　10月23日

儀式参列のため来日した賓客に日本の伝統文化を披露し、来日への謝意を示す宴。

【東京都内＝内閣行事】

## 大嘗祭　11月14～15日

新天皇が初めて、神々に収穫した稲を供え、感謝するとともに国家・国民の安寧を祈る儀式。皇居東御苑に大嘗宮が設けられる。　【皇居東御苑＝皇室行事】

## 「御代替わり」で変わる「モノ」

**問　来年は「御代替わり」だって聞いたけど何のこと？**

答　天皇の在位期間を「御代」といい、それが「替わる」わけだ。今の陛下が天皇の位を皇太子殿下に譲られるのさ。

**問　天皇陛下は退位されるの？**

答　政府の公式用語では「退位」だけど、高齢となった天皇の在り方や崩御による混乱を心配し、天皇の務めが安定的に引き継がれることを願われた陛下のお言葉（平成28年8月発表）から推し量ると、その実態は「譲位」だと思う。位を譲られた後は「上皇」となられるんだよ。

**問　その後はどうなるの？**

答　譲位の翌日から皇太子殿下が新天皇となられるために一連の儀式が始まるんだが、一代一度きりの儀式は「御大礼」「御大典」とも呼ばれる。「践祚」「即位」「登極」といった独特の言葉も登場するけれど、どれも意味は同じで「皇位（天皇の位）を受け継ぐ」ってこと。それぞれ「天皇が儀式のために登る『祚』という階段を践む」「皇位に即く」「皇位という極に登る」という意味だ。

かつては、皇位を継承する儀式を「践祚」と呼び、継承したことを宣言し、祝意を受ける儀式を「即位」と呼び分けたこともあるらしい。

**問　「国事行為」とか「皇室行事」などがあるけど。**

答　国会への出席など、憲法が定め内閣の承認と助言のもとで行われるものが「国事行為」。その他の行為のうち、皇室が受け継いできた伝統的な祭祀などが「皇室行事」に当たるよ。

皇室行事

国事行為

**問　御代替わりでは何が変わるの？**

答　身近なものは「元号」だろう。天皇ご一代につき、1つの元号という「一世一元」の制度が明治時代にできたので、来年4月30日までは「平成」だけど、新天皇が即位される5月1日に新たな元号に変更する「改元」がある。新元号の公表は改元の1カ月前に予定されているよ。

**問　そもそも元号って何？**

答　東アジアの国々で「年」を表現する方法の一種だが、現在では日本のみで用いられている。日本では大化の改新（645年）の時にできた「大化」が第1号で、現在の「平成」まで1400年近くにわたって247もの元号が使い続けられているんだ。

改元される理由としては、天皇の交代に合わせる「代始改元」、おめでたいことが起きた事を祝う「祥瑞改元」、天災や疫病などの災厄を断ち切る「災異改元」などがある。

**問　へえ、元号って面白いんだね。**

答　これまでで一番長かったのは「昭和」の64年で、次が「明治」の45年。「平成」の31年は4番目だ。中国の古典などからおめでたい文字を選ぶことになっていて、これまでに72文字が使われ、最多は「永」の29回だ。「平成」の「平」は12回使われているが、「成」は1回だけなんだ。漢字2文字が原則だけど、「天平感宝」のように4文字の元号も5回あったんだ。

**問　御代替わりで世の中に影響は出るの？**

答　1999年の「Y2K」騒動を知ってるかな？　西暦2000年を迎える時にコンピューターがトラブルを起こさないようシステムを改修したんだけど、あの時と同じ準備がスタートしている。

**問　他に影響は？**

答　昭和天皇が崩御された30年前は自粛ムードが広がり、新聞から広告が消えたり、テレビCMの音声が一部カットされたり、イベントも中止されたりしたね。今回は混乱を回避できる見通しで、カレンダーなどの刷り直しがありそうな印刷業界やおめでたい行事にあやかりたい人が増えそうなブライダル業界などには期待感も広がっているね。

**問　休みも増えるって聞いたけど。**

答　早耳だね。新天皇が即位される5月1日を祝日とした場合、祝日法の規定で4月30日と5月2日も休日となるんだ。4月27日の土曜日から振替休日となる5月6日まで、最長10日間の超大型ゴールデンウイークとなる可能性もある。「即位礼正殿の儀」が行われる10月22日も祝日となりそうだけど、これは来年限りだから注意しないとダメだよ。

《監修：藤本頼生・神道文化学部准教授》

大学共同利用機関法人・人間文化研究機構「博物館・展示を利用した最先端研究の可視化・高度化事業『列島の祈り』」

## 企画展 列島の祈り ―祈年祭・新嘗祭・大嘗祭―

内　日本列島各地で古代から、神々に神饌（＝飲食物）や幣帛（＝捧げ物）を奉って豊かな稲の実りや人々の幸福を祈る祈年祭（2月）、新嘗祭（11月）などの祭祀・儀礼が行われていたことは、10世紀に編纂された『延喜式』にも記されています。天皇が即位すると11月に大嘗祭を行い、天皇自らが神々に神饌を捧げました。本展では、祈年祭・新嘗祭・大嘗祭を中心に稲作のサイクルと祭祀との関わりを紹介します。

日　11月3日（祝）～平成31年1月14日（祝）

※11月19日（月）、12月3日（月）、4日（火）、26日（水）～1月6日（日）は休館

時　10時～18時（入館は17時30分まで）

場　国学院大学博物館企画展示室

問　☎03・5466・0359

### ミュージアムトーク

内　笹生衛館長（神道文化学部教授）が「古代の大嘗祭・大嘗宮の実態と原形」と題して講演。

日　12月15日（土）

時　14時～14時45分

場　博物館ホール

《関連事業》

### 講演会

内　斎藤英喜・仏教大学教授が「昭和三年の大嘗祭と折口信夫」と題して講演（要申し込み）。

日　12月22日（土）

時　15時～16時30分

場　渋谷キャンパス常磐松ホール

# インフォダイジェスト

…在学生　…保護者　…卒業生　…一般　…受験生
内内容　日日にち　時時間　場場所　対対象　申申し込み　料料金　問問い合わせ

## 大学からのお知らせ

### 「指定寄付金」ご協力のお願い

学校法人国学院大学では、私学としての公共性と独自性ある教育研究体制を確立するため、広くご寄付を募っています。

寄付の種類は、「学生・生徒等の奨学基金」「学生・生徒等の活動支援」「教育・研究振興支援」「施設・設備充実支援」の４つに加え、学生の課外活動を支援するための「課外活動支援（スポーツ強化部会等）」や「メッセージ募金」を設けています。

「メッセージ募金」は、スポーツ活動や課外活動などに熱心に取り組んでいる在学生に向けて、本学ＨＰ（http://kifu.kokugakuin.ac.jp/）からメッセージを直接投稿してもらう仕組みです。500円から寄付が可能で、メッセージはそのままＨＰに公開されます（匿名可）。

申専用用紙またはインターネットでのクレジットカード決済が可能です。利用可能なクレジットカードは、VISA、MasterCardの２種類です。

問総務課（☎03・5466・0111）

※本法人への指定寄付金は税制上の優遇措置を受けることができます。募金に関する情報は前出のＨＰで閲覧できます

### 「国学院カード」入会のご案内

学校法人国学院大学では、三井住友ＶＩＳＡカードと提携したクレジットカード「国学院カード」への入会を募っています。在学生には「国学院カード」、院友・教職員には「国学院カードクラシック」と「国学院カードゴールド」を用意し、各種特典もあります。

申三井住友VISAカードＨＰの申し込みサイト（https://www. smbc-card.com/nyukai/affiliate/kokugakuin/ index.jsp）から。

問▶三井住友VISAカード入会案内デスク（0120・816・437、☎03・6627・4136）

※受付時間は平日９時～19時、土・日・祝日９時～17時（12月30日～１月３日を除く）

▶財務部経理課（特典関係）（☎03・5466・0155）

※受付時間は平日９時～18時、土曜９時～17時（長期休暇と年末年始を除く）

### 若木祭に伴う休講について

内若木祭（本祭：11月２～４日）開催と準備・後片付けに伴い、学部・専攻科・別科・大学院の授業を渋谷・たまプラーザキャンパスとも休講とします。

日11月１日㈭・２日㈮・５日㈪

### 学生リアル調査を実施します

内５回目となる調査ですが、皆さんの回答を受けてキッチンカーの導入や喫煙所の移設、学内案内表示板の設置など、多くの改善を行ってきました。調査方法はスマホ、タブレット、パソコンからK-SMAPY Ⅱにアクセスするだけです。今年度も皆さんの大学生活のことや日頃感じていることを、聞かせてください！

日11月６日㈫～19日㈪

## イベント30

### 本学が参加予定の進学相談会

内国学院大学は、11月に各地で開催される進学相談会に参加予定です。

日・時・場下表参照

進学相談会一覧（11月開催分）

| 都道府県 | 都市 | 会場 | 日付 | 時間 |
|---|---|---|---|---|
| 宮城 | 仙台 | 仙台市中小企業活性化センター（アエル） | 11月16日㈮ | 15:00～18:30 |
| 埼玉 | さいたま | さいたまスーパーアリーナ | 11月６日㈫ | 15:30～19:00 |
| 埼玉 | 大宮 | 大宮ソニックシティ | 11月13日㈫ | 15:00～18:30 |
| 東京 | 新宿 | 新宿NSビル | 11月10日㈯ | 13:00～17:00 |
| 神奈川 | 横浜 | 横浜新都市ホール（横浜そごう） | 11月７日㈬ | 15:00～18:30 |

### LLC講演会「旅で身につけたコミュニケーション考古学からジャーナリストへ」

内院友でジャーナリスト、旅行作家、編集者として活躍される丸山ゴンザレス氏（平13卒・109期史、平15修・111期博前史）を講師に招き、外国語もコミュニケーションも得意ではない人が「グローバル社会」を生き抜くコツをお話しいただきます。

日11月17日㈯

時14時30分～16時30分

場渋谷キャンパス１号館1105教室

申11月６日㈫までに本学ＨＰの申し込みフォーム（https://k-form.kokugakuin.ac.jp/m?f=250）から申し込む。定員250人（先着順）。

問教育開発推進機構ＬＬＣ（☎03・5466・6744、FAX03・5466・6742）

### 文化発信型英語力開発活動イベント「鹿鳴家英楽の英語落語セミナー」

内日本が誇る伝統話芸「落語」は、外国語学習にも効果的です。あなたも高座に上がって、ちょっとした小話を英語で演じてみませんか。英語落語を聞いてみたい人、日本を英語で紹介することに興味のある人、英語を実際に使ってみたい人、どなたでもご参加ください。

文学部外国語文化学科が「文化発信型英語力開発活動」として開催します。

日11月22日㈭

時16時30分開場、17時開始

場渋谷キャンパス130周年記念５号館多目的室

対どなたでも参加可能

申不要

料無料

問文学部資料室（☎03・5466・4813）

### 第４回地域交流スポーツフェスティバル

内「スポーツ科学を、もっと身近に」をテーマに、専門的知識を持った教員と学生が、体力測定やスポーツ科学の体験ブース、骨密度・栄養・体組成チェックブースなど子どもから大人まで遊べるブースを多数出展します。測定結果を基に、個人にあった適切な運動プログラムの提案や指導、アドバイスを提供できる項目もあります。動きやすい服装で、タオル、飲み物、運動靴（屋内用、屋外用）など持参でご来場ください。

日11月25日㈰

時10時～15時

場たまプラーザキャンパス体育館、球技場

料無料

問人間開発学部地域ヘルスプロモーションセンター（☎045・904・7707、✉kchpc＠kokugakuin.ac.jp）

※博物館イベント「列島の祈り」は５ページをご覧ください

## 若木が丘だより

# トランシルヴァニア街歩き

法学部 准教授
**藤嶋 亮**

在外研究で1年間滞在した、ルーマニア北西部、トランシルヴァニア地方のクルージュ・ナポカという街をご案内したい。街の中心部には、その複雑な歴史を反映し、キリスト教各宗派の教会が林立する。

スタートは、ルーマニア民族運動の英雄、アヴラム・ヤンクの名を冠した広場である。この広場には、彼の像とルーマニア正教会の大聖堂が鎮座し、国旗が翻る。隣り合う、当地固有の合同教会、ギリシャ・カトリック教会は、20年以上、建築途中とのこと。

広場から英雄通りを進むと、右側にチャウシェスク時代からのレストランが見えてくる。サービスはともかく、ここの「チョルバ・デ・ブルタ（牛の臓物のスープ）」は、コクと食感が絶品である。

さらに通りを進んで行くと、統一広場に行き当たる。広場には、長い歴史をもつカトリックの聖ミハーイ教会と、ハンガリーの英雄、マーチャーシュ1世の騎馬像が鎮座する。トランシルヴァニアはちょうど100年前まで、ハンガリーの支配下にあったからである。ヤンク広場（つまりルーマニア人）が対抗心を抱くのも、無理からぬところであろうか。

この広場周辺が旧市街であり、東欧料理の「ブルガコフ」など雰囲気の良いレストランが軒を連ねるが、ルーマニア人の同僚いわく、100パーセント、ハンガリーとのこと。

統一広場から大学地区に向かうと、ハンガリー系カルヴァン派の教会があり、反対方向の「1989年12月21日通り」に進むと、ドイツ系ルター派の教会がある。当地は、ドイツ系の人々が築いた部分も多い。隣接して、ユニテリアンという、さらに珍しい宗派の教会がある。

この教会の前から、宿舎に向かう25番のトロリーバスが出る。クルージュっ子のホスピタリティのため、たびたび終バスを逃したのも、懐かしい思い出である。幾重にも折り重なった歴史の重み、ここにトランシルヴァニアの魅力の一端がある。

## 本紙へのご感想をお待ちしています

「国学院大学学報」では、読者の皆さまからのご意見・ご感想を募集しています。掲載された方には、本学オリジナルグッズを進呈いたします。

ご投稿は以下の要領でお願いします。

①今号の満足度5段階（低1～5高）②本紙へのご意見③住所④氏名⑤所属など（在学生の場合〈学科・学年〉、保護者、院友〈本学卒業生〉、本学・本法人教職員、その他いずれか）を明記の上、ハガキ・FAXで国学院大学広報課（連絡先は1面参照）までお送りください。また、QRコードよりEメール作成画面を開くことができます。なお、お送りいただいた方の個人情報は法令に基づいて取り扱いいたします。

※お寄せになられた原稿・お便りは返却いたしません

## 全学応援団、「応援日本一」に貢献

大学応援団への理解を深めてもらうと同時に互いの技術向上を目指した「第１回　大学応援団フェスタ」が９月23日、東京・代々木の国立オリンピック記念青少年総合センターで開催された＝**写真**。４校ずつ紅白に分かれて行われた「応援合戦」では来場者の投票によって紅組が初代王者に選ばれ、「最も勝利に貢献した応援団」として国学院大学全学応援団の杉田大樹団長（史４）に花束が贈られた。

## 吹奏楽部・ドリル競技部 街びらきイベントに登場

再開発が進む渋谷駅周辺で９月13日、新施設「渋谷ストリーム」が開業した。18日には、吹奏楽部とドリル競技部SEALSが、開業記念イベントに参加。渋谷川に沿った施設周辺の街びらきを彩った。

新たに整備された屋外催し物スペース「稲荷橋広場」で行われたイベントでは、両部会が演奏とダンスを組み合わせたパフォーマンスを披露。行き交う買い物客や観客の多くが手拍子を送るなどし、会場は躍動感あふれる雰囲気に包まれた。

## 福井国体 2競技に本学選手が出場

９月29日から10月９日まで行われた福井しあわせ元気国体（福井国体）で、ソフトテニス成年女子と卓球成年女子で郷土の代表として本学学生が出場した。

ソフトテニス成年女子では、ソフトテニス部の芝優香選手（法１）が熊本県代表として出場。芝選手は、団体戦のダブルス２試合に出場したが勝利は奪えず、熊本県代表は２回戦で敗退した。

卓球成年女子では、卓球部の塚本佳苗選手（日文２）が岩手県代表として出場。団体の１次リーグで３戦３敗。チームも３連敗で順位決定トーナメントに進めなかった。

## 団体・個人の成績

**ラグビーフットボール部**＝関東大学ラグビー・リーグ戦グループ２部が９月16日に開幕。同部は開幕から連勝を続ける。10月７日に立正大学グラウンドで行われた国士舘大学との試合では、10トライをあげるなど相手を圧倒。64－14で勝利し連勝を３に伸ばした。

**卓球部**＝関東学生卓球秋季リーグ戦が９月に行われ、２部に所属する男子は１勝４敗で５位（６校中）。１部に所属する女子は、全日本大学総合選手権３位の日本大学に勝利するなど熱戦を繰り広げたが、１勝６敗。日本体育大学と並んだが得失差で最下位（８校中）となり２部降格が決まった。

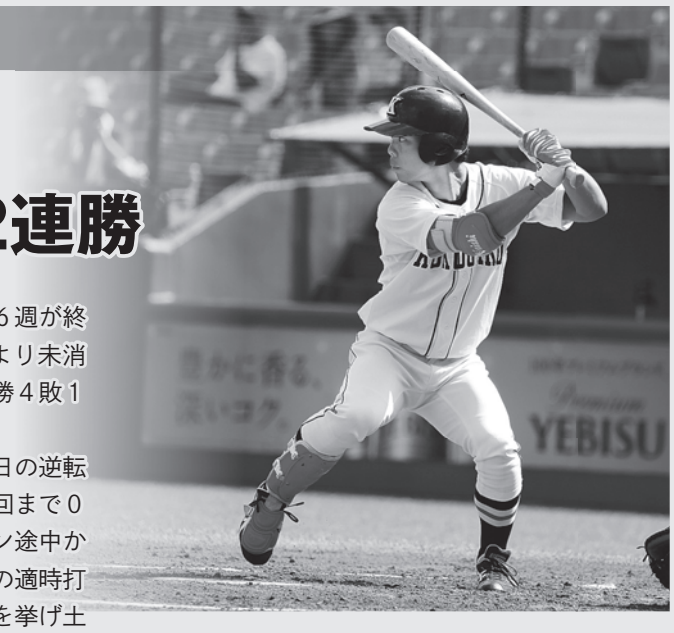
## 強化部会主なスケジュール（11月）

**ラグビーフットボール部**＝関東大学ラグビー・リーグ戦グループ２部　対立正大（11／４（日）12：00・国士舘大G）、対東洋大（11／18（日）12：00・拓殖大G）

**卓球部**＝第15回全日本学生選抜選手権（11／23（金・祝）～24（土）・日本ガイシスポーツプラザ（名古屋市））

硬式野球部

# 混戦の東都 中大に逆転で2連勝



打撃好調の工藤選手

東都大学野球秋季１部リーグ戦は、第６週が終了した10月11日現在、雨による順延により未消化となる試合があるが、硬式野球部は４勝４敗１分・勝ち点２で２位につけている。

４日から行われた中央大学戦では、連日の逆転勝ちで勝ち点を挙げた。１回戦では、六回まで０－５でリードを許したが、七回にシーズン途中から１番に定着した工藤陽平選手（哲４）の適時打で１点を返すと八回に３点、九回に１点を挙げ土壇場で同点に追いついた。

延長十回には、工藤選手の安打などで一死一・三塁から貞光広登選手（経３）、中山遥斗選手（健体２）の連続適時打で２点を挙げ試合を決めた。

翌５日の２回戦も序盤からリードを許す苦しい展開。六・七回に追い上げ５－５の同点に追いつくと九回、二死二塁から相手投手の暴投の間に走者の高橋謙太選手（経４）が一気に本塁を陥れサヨナラ勝ち。２連勝で勝ち点を挙げた。

第６週の亜細亜大学戦は、投打に振るわず２連敗で勝ち点を落とした。全チームが勝ち点差１の中にいる大混戦の今季。平成22年秋以来の優勝へ終盤の奮起が期待される。

K SPIRITS

# 世界で信頼を築き困難に挑む

## ―南アフリカのスラム街に図書館を建設

### 谷口友星さん（法3）

海外留学で得られるものは語学力にとどまらない―。谷口友星さん（法３）は昨年度、本学を１年間休学し、南アフリカへ留学した。現地では英語を学ぶだけではなく、現地人の協力を取り付けながらスラム街の貧しい子どもたちのためにクラウドファンディングで資金を募って図書館を建設。谷口さんは「人との信頼関係を築くには、辛抱強さと誠実さが大切であることを学びました」と語る。

**――現地の共同体に受け入れられたきっかけは**

**谷口さん**（以下、谷口）：南アフリカはサッカーが盛んです。私は小学４年から大学を休学するまで続けていたサッカーを武器に、最初は留学先であるケープタウンのアマチュアチームに入れてもらい、人的ネットワークを広げました。

**――スラム街に図書館を建てようと考えた理由は**

**谷口**：現地のチャリティーで寄付されたお金や品物が貧困層ではなく富裕層に渡っている現実を目の当たりにしたからです。憤りを感じ、本当に困っている人たちを自分で確かめ、必要とされている物を直接、届けたいと思いました。

**――どのような困難が**

**谷口**：南アフリカでは時間の約束は当てにならず、治安が悪く、人種差別も残っています。スラム街で脅迫まがいの態度を取られたこともあります。図書館建設は、国際的非政府組織の現地事務所で働くアフリカ系男性との出会いがなければ、実現しませんでした。彼の信頼を得るために、ランチを持って根気強く日参しました。

**――どんな図書館に**

**谷口**：スラム街の学校は机も黒板もない状態で、教師が「もっと質の高い教育を与えたい」と願っているのが印象的でした。図書館は教師らと相談し、貨物コンテナを転用して学校の隣の敷地に設置しました。所蔵の大半は英語を学べる本です。私は当初、子どもたちが読める現地のコサ語の本を用意しようとしたのですが、教師から「必要なのは教養ではなく教育。あなたも最初は英語を読めなかったでしょ」とたしなめられてしまいました。

**――活動を通じ、どのような気づきが**

**谷口**：他人との信頼関係を築くには、私が相手に関心を持っていることを伝え、相手の話を聞くこと、相手の目線で物事を考えることが大切だと感じました。自分の熱量しだいで、物事も人の心も変えられることも知りました。将来に向けた自信になっています。

◇

インタビューの詳細は、本学ホームページ内「国学院メディア」に掲載。

K:DNA

2018 10

K:DNA――創立136年目を迎えた国学院大学の遺伝子…個人・個性を尊重する校風　若いエネルギーが未来を変える

柔道部

# 島田選手 73kg級で準優勝

## ――― 全日本学生柔道体重別選手権大会

学生柔道の日本一を決める平成30年度全日本学生柔道体重別選手権大会が９月29、30日、日本武道館で行われた。本学柔道部からは東京都予選を突破した７人が出場し、男子73kg級で島田隆志郎選手（健体３）**＝写真＝**が準優勝し、３年連続でメダルを獲得した。

２回戦から出場した島田選手は、初戦で延長の末に内股で一本勝ちを決めると、続く３回戦、準々決勝も内股で一本勝ちを収めた。相手選手の反則負けで準決勝を突破して迎えた決勝戦は、今大会の予選となる東京学生柔道体重別選手権大会（９月２日）で敗れた古賀颯人選手（日本体育大）との対戦。互いにポイントを奪えないまま延長にもつれこんだが、最後は支釣込足でポイントを奪われ優勢負け。一昨年の準優勝、昨年の３位に続きメダル獲得となった。

試合後、島田選手は「悔しい。準決勝までは、自分に合った組み手ができた。いい収穫になった。（10月20、21日に行われる）全日本学生柔道体重別団体優勝大会で勝ちたい。皆で頑張っていきたい」と語った。

また、男子81kg級では、常見昂世選手（法１）が３回戦で今年の全日本ジュニア覇者の笠原大雅選手（天理大）に一本勝ちを収め、５位入賞を果たした。このほか、男子66kg級に出場した藤阪泰恒選手（健体４）、100kg級の寺島綾都選手（経３）は３回戦敗退、81kg級の長澤大雅選手（健体２）、90kg級の二見省吾選手（経４）、100kg級の吉川拓海選手（日文３）は２回戦敗退だった。

陸上競技部

# 速報 箱根駅伝予選会突破

## ――― 3年連続12回目の箱根路へ

個人７位に入った浦野選手

正月の第95回東京箱根間往復大学駅伝競走（関東学生陸上競技連盟主催）の出場権をかけた予選会が10月13日に行われ、本学陸上競技部は４位で３年連続12回目の出場を決めた。総合成績は10時間40分38秒。

レースは、昨年までの20㎞から距離が延び、立川市・陸上自衛隊立川駐屯地をスタートし、昭和記念公園内をゴールとする21.0975㎞で実施。39校が上位10人の合計タイムで本大会出場の切符をかけて争った。

各大学のエースや留学生ランナーが先頭に立ちレースが展開される中、同部の浦野雄平選手（経営３）は終盤まで２位集団に加わる粘りをみせ、個人７位、日本人では４番目でゴールした。

レース後の結果報告会で前田康弘監督は「予選突破はうれしいが、このままでは本大会でシード権はとれない。しっかり強化していきたい」と本大会での飛躍を誓った。土方英和主将（健体３）は「11月の全日本大学駅伝、１月の箱根駅伝では、シード校や上位３校に勝ってシードをとりたい」と次の戦いへ意欲をみせた。

| 順位 | 大学名 | 総合成績 |
|---|---|---|
| 1 | 駒澤大学 | 10:29:58 |
| 2 | 順天堂大学 | 10:36:58 |
| 3 | 神奈川大学 | 10:39:16 |
| 4 | 国学院大学 | 10:40:38 |
| 5 | 明治大学 | 10:41:06 |
| 6 | 東京国際大学 | 10:41:15 |
| 7 | 大東文化大学 | 10:42:16 |
| 8 | 中央大学 | 10:42:55 |
| 9 | 国士舘大学 | 10:45:39 |
| 10 | 山梨学院大学 | 10:46:27 |
| 11 | 上武大学 | 10:46:51 |
| 以上、本大会出場 | | |

本大会は、来年１月２、３日に、シード校10校、関東インカレ成績枠１校、本学を含む今回の予選会通過校11校とオープン参加の関東学生連合チームが出場して行われる。

博物館 No.16 学芸員の資料ファイル

今月の資料　横山華山　やすらい祭・賀茂競馬図屏風

**時　代**：19世紀

横山華山（1781あるいは1784～1837）は、江戸時代後期に京都で活躍した絵師です。

本資料は、左隻に賀茂別雷神社の賀茂競馬（くらべうま）、右隻に今宮神社のやすらい祭［写真］（ともに京都市）の様子を描いています。

やすらい祭・賀茂競馬図屏風は、他の華山の作品とともに、10月14日まで「横山華山」（東京ステーションギャラリー）で展示されました。来年、宮城県立美術館、京都文化博物館でも展示される予定です。

**展示案内**：本資料は、国学院大学図書館デジタルライブラリーでご覧いただけます。

**ウェブサイト案内**：https://opac.kokugakuin.ac.jp/digital/menus/index21.html